

平成27年8月1日

## 研修報告書

松戸市議会議員

大塚 健児

研修：人事評価の給与への反映

主催：(株)グローバルダイナミクス代表取締役社長 山中俊之

日時：平成27年8月1日（火） 10時～12時半

場所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

- 次第：1. 人事評価の項目と運用のポイント  
2. 自治体で起きている諸問題～形骸化と甘い評価  
3. 人事評価の勤勉手当と昇給への反映の具体的方法

### 【研修報告】



#### 1. 人事評価の項目と運用のポイント

まずは全国でどれだけ人事評価制度が整備されているかをデータで紹介する。その上で、人事評価の目的と評価項目、制度設計段階の課題と事細かに説明。そもそも総合計画、実施設計があって、その行政評価の目的と人事評価の目的が連動するべきであるという解説だった。

#### 2. 自治体で起きている諸問題～形骸化と甘い評価

自治体は何を評価するのかを検証する。具体的な行動を評価するのが能力評価であり、成果をあげることが業績評価である。トップが目標設定に本気にならない限り、形骸化をする。

360度評価や相対評価の解説をされ、松戸市での導入を検討したい。

また、公平性の評価エラーについて、しっかりと研修等を行い、少なくしていく必要がある。

### 3. 人事評価の勤勉手当と昇給への反映の具体的方法

先の能力評価と業績評価により、勤勉手当と昇給への反映をするべきである。係長クラスまでは、能力評価も考慮していいが、管理職は業績評価、つまり目標に対して成果を出したかで、勤勉手当の差をつけるべきである。

#### 【まとめ】

昨日から2日間に渡り、人事評価制度と給料表の読み方を学びました。元市の職員であったため、自信のある分野であったが、思った以上に知らないことだらけでした。これから、市民ニーズも多様化し、民間と同等の給与であり、評価制度が導入されるべきであると思いました。しっかりと9月議会に備えていきたいと思えます。



以上